リアルタイム事務事業評価調書①【会議資料】

令和　6　年　10　月　11　日　作成

事業名	ウォーキングマップの印刷・配布事業					
担当部署	部	まちづくり部	課	都市づくり課	係	地域整備係

A）基本情報

基本施策	3　安全・安心で利便性が高いまちづくり									
分野別施策	施策3　－　3　都市づくり【重要施策】									
展開方向	□　メリハリのある都市空間の形成									
	☑　住宅都市としての魅力向上									
	□　下水道機能の維持・向上									
予算科目	会計	一般	款	8	項	3	目	1	事業番号	3
事業名称	都市計画事務費							継続・新規	継続して実施している事業	

B）事業概要・事業目的

事業の概要・目的	・市民等が市の自然や文化財に親しみながら街を散策していただけるように『郷土博物館編』『多摩湖編』『野火止用水編』『桜が丘編』の４種類のウォーキングマップを作成し、市役所や駅などで配布するとともに、市公式HPにデータを掲載している。 ・3年毎に２種類ずつ印刷している。(16,000部、約32万円、年平均約１０万円)

C）過去の実績（事業の実績を示す数値　又は　事業の目標としたものの結果）※市民意識調査の結果は不可です。

	実績の説明	単位	令和3	令和4	令和5
①	４種類合計の配布	部	6,340	4,950	4,920
②	在庫数	部	23,200	34,250	29,330
③	印刷数	部	0	16,000	0
④	印刷費	円	0	316,800	0
⑤					

□　数値として出せる実績はない（下記に理由を記入↓）

実績を出せない理由	

D）昨年度（令和5年度）における事業の課題や反省点

①	取組を開始した平成１２年度は３種類のマップを約17,000部配布し、平成１３年度は１種類増やし、４種類のマップを計22,000部配布した。以降、配布状況は減少傾向で令和５年度の配布部数は4,920部であり、平成１３年度と比較して約８割減となっている。
②	紙媒体のマップ配布について、一定の需要があると認識しているものの、職員による在庫管理や内容の見直しに係る手間、印刷のコスト、昨今の通信機器等が発達している状況などから、事業見直しの余地があると感じている。

E）令和6年度の事務の進め方（予定含む）※なるべく時系列に沿って記入してください。

①	４月　　４種類のマップを市公式ホームページに掲載。（継続）
②	４月　　職員が４種類のマップを市役所等に配架し、必要に応じて補充。（継続）
③	（配布場所：市役所、中央公民館、狭山公民館、蔵敷公民館、上北台公民館、上北台市民センター、奈良橋市民センター、向原市民センター、清原市民センター、新堀地区会館、郷土博物館、行政コーナー、上北台駅、桜街道駅、東大和市駅、玉川上水駅、武蔵大和駅）
④	１０月　働き方改革・事業整理グループにおいて、令和６年度末で終了を検討すべき事業の一つに選定されたことを受け、マップの紙媒体の印刷・配布を廃止する検討を開始。

F）令和6年度中に目指す目標・状態

※「〇〇意識を高める」、「理解を深める」等といった成果が不明確な目標ではなく、できるかぎり効果が数値化できる目標にしてください。

①４種類合計の配布 5,000部　②在庫数 24,330部　③印刷数 0部　④印刷費 0円
『働き方改革・事業整理グループにおいて、令和６年度末で終了を検討すべき事業の一つに選定されたこと を受け、マップの紙配布の廃止を検討したい。』
・令和７年度に予定しているマップの印刷は行わないこととし、今後は、現在保管しているマップがなくなるまで紙配布を継続する。
・市公式ホームページへの掲載については継続する。

G）当該会議で聞きたいこと

※ある場合のみ記入してください。詳細は会議で説明してください。

①	『以下の方向性で進めたいが、この運用に対するご意見を伺いたい。』 ・紙媒体のマップについては、今後、新たに印刷を行わない。 ・紙媒体の配布については在庫がなくなり次第、配布を廃止する。 ・市公式ホームページへの掲載については継続する。
②	

H）評価会議での意見・助言等

①	マップをインターネット（HP等）に掲載する場合、マップの目的ごとに表示すると良いのではないか。 またスマホで閲覧したときに自分の位置情報がわかるなど、マップの利便性が高いと良いと思う。
②	紙で配布した方が良いもの（ハザードマップ等）とそうでないものを整理してほしい。
③	ウォーキングマップについては、在庫がなくなり次第、終了でよい。

リアルタイム事務事業評価調書②【実績報告・分析】　令和　7　年　3　月　31　日 作成

事業名	ウォーキングマップの印刷・配布事業					
担当部署	部	まちづくり部	課	都市づくり課	係	地域整備係

A）リアタイ評価会議後に対応したこと・参考としたこと

令和７年度に予定していたマップの新たな印刷を行わないことの決定

B）R6年度の実績（事業の実績を示す数値又は事業の目標としたものの結果）

	実績の説明	単位	目標値	R6実績値	【参考】R5実績値
①	ウォーキングマップ配布数	枚		7,040	4,920
②					
③					
④					
⑤					

□ 数値として出せる実績が得られなかった（下記にその理由と当初の目標と代替する目標を記載してください）

理由　及び 代替する目標	
R6実績は 去年と比べて	□ 向上した ☑ 例年通り □ 低下した □ その他

左記とした理由　又は　分析等（向上・低下した要因等）：
配布部数は前年より増えたが、配布場所の在庫切れによる補充のため特別な要因はない。

C）分析（令和６年度の実績を踏まえて）　↓　該当するものに○をつけてください　↓

	高い		普通	低い
①この事業の**有効性**は ニーズとコスパ、執行体制、手法として最適か　等		○		
①の理由：市内外の人に対して、東大和市の文化財、自然等を親しんでもらえるきっかけとなっている。				
②この事業における**市民協働・市民協創**の余地は ※市民協働、市民協創については別紙参照。	多くの余地がある	○	余地がある	余地がない
②の説明：現在も、市民団体を通じた周知・配布などが行われているため、さらなる団体との連携の余地がある。				
③この事業が今後**民間活力**等を活用する余地について	多くの余地がある	○	余地がある	余地がない
③の説明：マップの内容やデザインの更新等に際して、広告掲載など、検討する余地がある。				
④この事業が今後類似事業と**統合・再構築**できるか ※類似事業がある場合のみ回答	可能である	○	検討の余地がある	不可能である
④の説明：市で発行している「東大和市観光マップ」などと統合検討の余地がある。				
⑤**近隣市の類似事業と比較して**充実している事業か ※近隣市に類似する事業がある場合のみ回答	他市より 充実している	○	他市と同程度	他市の方が充実
⑤の説明：近隣市においても同様のマップがある。				
⑥**東大和市独自の個性**を出している事業か	市の特長、個性を 出せる事業である	○	他市と同程度 個性はない	
⑥の説明：近隣市においても同様のマップがある。				

リアルタイム事務事業評価調書③【課題・今後の方向性、事業コスト】

A）来年度以降の課題や見直すべき点　※事業の実施を経て、反省・見直しすべきだと思ったことを記入してください。

①	在庫がなくなり次第、紙の配布を終了することについてHP等で周知する必要がある。
②	マップの更新等の管理コスト削減のため、他のマップとの統合を検討する。
③	
④	
⑤	

B）来年（令和７年度）の取組予定　※事務予定または、改善事項を記入してください。

①	在庫分の配布を継続する。（なくなり次第紙の配付は終了する。）
②	市公式ホームページへの掲載。（継続）
③	他のマップとの統合検討。
④	
⑤	

C）上記Bの取組にあたって必要な調整・準備事務等　※記入日時点で必要と考えられる準備事務について記入。

①	紙媒体の配布廃止について、適切な時期にHP等で周知する。
②	マップ統合の検討及び他課との調整。
③	
④	
⑤	

事業コスト　（　7　年　3　月　31　日 時点　）

予算科目	会計	一般	款	8	事業番号	3	事業名称	都市計画事務費
			項	3				
			目	1				

R6予算額及び決算額　※会計年度任用職員に係る経費（報酬等）は記入不要です。　単位：円

R6予算額		R6決算額(暫定)		【参考】R5決算額	
事業費合計	0	事業費合計	0	事業費合計	0
積算根拠		積算根拠		積算根拠	
10 需用費	0	10 需用費	0	10 需用費	0
※３年に一度印刷しているため、令和６年度は予算計上なし。（前回の印刷は令和４年度）					
財源内訳		財源内訳		財源内訳	
一般	0	一般	0	一般	0
国	0	国	0	国	0
都	0	都	0	都	0
市債	0	市債	0	市債	0
その他	0	その他	0	その他	0